

小澤洋介、三戸素子、P. ヤング友の会ニュース No.24



8月、暑い毎日が続いています。

現在、音楽家達はまもなく行われる、8月26日(土)東京文化会館のクライネス・コンツェルトハウス Vol.9、そして9月14日(木)の横浜イギリス館《モーツァルト》に向けての音楽創りの真っ最中です。同封のご案内をご覧になって、ぜひお出かけ下さい。いつもながら、充実のプログラムが準備されているようです。

それでは、6月に行われたイギリス館のモーツァルトのコンサートの模様を、おなじみの「八ヶ岳だより」三井千恵子さんと、続けて去る2月のクライネス・コンツェルトハウスVol.8「20世紀の音楽」を、作曲家で友の会会員の後藤國彦さんからのメールでどうぞ。

八ヶ岳だより

友の会八ヶ岳支部 三井千恵子

6月30日のイギリス館モーツァルトの弦楽四重奏は、いつもは帰りの列車の都合であきらめていた最後の曲まで聴くことが出来た感動と喜びで一杯だった。このシリーズでのアンコール曲は更に絶妙で、他では聴くことのない曲。(音楽家は多忙な中で、このような楽譜をどのようにして見いだすのだろうか?)といつも一瞬よぎる。)そして歴史あるイギリス間の空間は、このコンサートの「時」は魔法の玉手箱となる。

奇しくも小さな同窓会のように、コンサートで出会った私たち旧(級)友数人は、魔法の箱から、次の素晴らしい港の見える丘公園の夜景の世界に入った。ご主人の出迎えの車に、外国へ行った気分、やはり友の会会員の久保夫人の横浜のお宅に伺い、手料理と山梨のワインで音楽会の余韻を楽しんだ。

心を遣って終電で横須賀に帰る津金氏を見送り、残った八ヶ岳メンバーは特製のシュラフで修学旅行の夜の気分で...

翌早朝、久保夫妻の車に便乗、ヨシコ嬢(家族犬)共々東名から御殿場、東富士を通過。その日7月1日は富士山の山開き、複雑な天気模様の中で、雲とたわむれるように富士山は美しい姿を時々現す。山頂の人々は、とまどっているだろう...と想った。

湖面の河口湖大橋を直に御坂峠にさしかかり、トンネルの手前で一寸旧道に入った見晴台で、壮大な富士山を目前にして、夫人の心尽くしの朝食を味わい、桃の実のたわわな桃畑の中を八ヶ岳に向かった。長坂の駅前で各々別れ、私は森の店に予定時刻通り午前9時に戻った。

その日の八ヶ岳は快晴。改めて林の中からつき抜ける青空を仰ぎ、目と心をいっぱい開いて高く向けて音楽の神秘、妙味を...

珠玉の音楽の中に泉のように湧き出して進むものを味わった。

サテ...、今日は終日森の店番人、お客さまと私の出会いに、どのような音楽が醸し出されるだろうか...、心が弾む。

E-mail だより

ファースト・メール

友の会会員 後藤國彦

三戸素子様、小澤洋介様、
後藤國彦です。

今回のコンサートはちょっと言葉では表現しきれないものでした。

単に20世紀のプログラムゆえ私の琴線に触れやすかった、ということではないと思います。というのも、たしかに20世紀の音楽と銘打たれてはいますが、近年私自身が特に接してきたものとは違った傾向のものだったからです。

細部は面倒なので、かいつまんでしまいますが、ラヴェルは楽器の能力を作品が徹底的に引き出して、しかも理屈が前面に出ない、という節度があり、立派な作曲家だったのだな、と初めて思いました。

素子さんの立って演奏する姿は、思えばかなり以前にクリスティーナさんと最初に渋谷で演奏した時以来、私は接していないのですが、あの時のスプリング・ソナタの冒頭を思い出しました。

からだの動きはどうでもよいことかもしれませんが、それも音楽の一部として私には伝わってきました。間近で聴いているから、本当にいろいろな情報がぶつかって来るのです。演奏者の生身の力は、やはりこのラヴェルが一番でした。2人のかけているものがあるからね。

パークレーは苦勞の末の選曲なのでしょうね。コンサート全体、また今後のことも考えての熟慮を感じました。やるべきでないことは絶対にやれなかった、という作曲家の誠実さ

が、結果的に作曲当時の社会の状況を告げていると思います。

私はあのラヴェルのあとで、あまり集中して聴きませんでした。

ヤナーチェクは言葉が出ません。

あの時代にあの高音の旋律を書いた、そこまで追い詰めていった、ということに、心から敬意を表します。しかも亡くなる年ですよ。あの高音を演奏している時というのは、どのような気持ちになるのでしょうか?いや、積極的に「する」というべきか?普通の心持ちでは曲に負けてしまいますね。

お二人は譜面の奥まで読み込んでいるのが、いつもよくわかります。スキがないからね。(スキだらけの人、いっぱいいますよね。)だから曲がよいと聴いていて息ができないほどの演奏になるし、曲の方にスキがあると、それがはっきりと見えて、それはそれで解釈しきっていいですね。

私は少しずつ、いわゆる前衛音楽からは自由になってきている、と(自分では)思っていますが、逆にそれゆえにまた、自分の裁量で選んでゆく道は厳しくなってゆくでしょう。ラヴェルやヤナーチェクの特に楽器に対する距離感の近さはうらやましく、自分の未熟さを反省します。でも不思議と励みになっているのです。

次回も良いコンサートにしてください。

このお便りは、2月に頂いていたものを、紙面の都合で今まで掲載できなかったものです。(編集部)

三戸素子のヴァイオリン雑話 その 9

現在3つのヴァイオリンが手元にあり、それを使用しているのですが「どんなふうに使っているのですか?」という質問をよく頂きます。「曲によって使い分けるのですか?」と尋ねられるのもしばしばです。

確かに3つのヴァイオリンにはそれぞれ個性があり、それを曲のイメージと合わせられたら素晴らしいのですが、いまのところ私には常時ひとつの楽器をあたためておくのが精一杯で、なかなか3つ平行してスタンバイさせておくことが出来ません。「あたためる」と書きましたが「楽器の隅々まで体の一部にするところまでもっていく」という意味のつもりです。

また湿気に弱い、したがって夏はちょっと安定しない、といった特徴の楽器もありますし、たまたま保険が切れていて、アメリカには怖くて持って行けない、といった場合もあります。この保険も特殊なので普通の保険にはなかなかあてはまらず、以前はイギリスで、現在は日本で掛けています。

この他、楽器をあたためるということの中に、4本の弦を良いバランスの状態を整えておく、ということも入ります。

弦にも北欧やドイツ、オーストリア等さまざまなブランドがあり、硬さや太さも微妙に違います。それをどのコンビネーションで張るかは、楽器の状態と自分の状態に合わせて変わってきます。私も今までたくさん試してきたものです。(洋介氏をもっと熱心に試しています。)また消耗しすぎていても良い音はしませんし、反対に張ったばかりだと弦がしっかり伸びる

まで安定しないので、コンサート前には特に気を使います。演奏旅行やコンサート前には、突然切れたときに備えて最低1セット、ケースに入っているかチェックして出かけます。

こうして書いていると、とても複雑なことのように自分でも感じてきましたが、私達が毎日髪をとかしたり散髪に行ったり、爪を切ったりして身じまいをするように、ヴァイオリンのお世話も長年やっていると、自然に身についてくるので不思議です。

友の会会員ってどんな人? 会員のご紹介

後藤國彦さん

作曲家。93年ごろ、会員の本野義雄氏を通じて洋介さん素子さんと知り合う。二人の虚飾を求めない音楽家としての生き方に共感している。現在、本当に澄んでいて新しく希望が持てる音楽を自分の耳でとらえてみたいと思っている。

次の作品発表は8月18日新居浜市において「超人降臨」という、ツアラトウストラとウルトラセブンを題材にしたトランペット・ソロの曲。現在、ピアノ独奏曲を作曲中。

コンサートのご案内とお知らせ



8月22日(火) 世田谷区カルラホール演奏会

カルラホール 世田谷区経堂3-16-12 03-3439-7507

カルラホールのご協力で8/26のコンサートの公開総練習を行います。

演目、出演者は以下の文化会館と同じです。

8月26日(土) 東京文化会館室内楽シリーズ

クライネス・コンツェルトハウスVol.9

- ・モーツァルト：弦楽四重奏曲 ト長調 KV387
- ・ショスタコーヴィッチ：弦楽四重奏曲 第8番
- ・ドホナーニ：ピアノ五重奏曲

出演：ピアノ：ラファエル・ゲラ | ヴァイオリン：三戸素子、山田耕司
ヴィオラ：二宮隆行 | チェロ：小澤洋介

東京文化会館 小ホール 19pm 開演 ￥3,500

お問合せ：ハラヤミュージックエンタープライズ TEL.03-3587-0218

9月10日(日) 13日(水) 三戸素子 Vn リサイタル

三戸素子、クリスティーナ・ヴェーナーデュオリサイタル

- ・モーツァルト：ヴァイオリンソナタ：変ホ長調 K380
- ・世界の小品集：愛の喜び、ユーモレスク ほか
- ・ベートーヴェン：ヴァイオリンソナタ「クロイツェル」

10日 岐阜県瑞浪市釜戸町 13日 岐阜県瑞浪市日吉町

お問合せ：高橋利通 TEL.0572-63-3696

9月14日(木) 《モーツァルト》シリーズ第10弾

クライネス・コンツェルトハウス《モーツァルト》Vol.10

- ・ヴァイオリンソナタ：変ホ長調 K380
- ・ヴァイオリンソナタ：ヘ長調 K377
- ・ヴァイオリンソナタ：イ長調 K526

出演：三戸素子 | クリスティーナ・ヴェーナー

横浜イギリス館 19pm 開演 ￥3,500

お問合せ：ハラヤミュージックエンタープライズ TEL.03-3587-0218

9月21日(木) サンクト・フローリアン三重奏団

カリフォルニア州パサデナ市立大学記念演奏会

・スメタナ：ピアノ三重奏曲 ほか

出演：サンクト・フローリアン三重奏団 三戸素子 | 小澤洋介 | フィリップ・ヤグ

9月23日(土) サンクト・フローリアン三重奏団

アリゾナ州アルコ・サンティ

・トゥリーナ：ピアノ三重奏曲 第2番 ほか

出演：サンクト・フローリアン三重奏団 三戸素子 | 小澤洋介 | フィリップ・ヤグ

10月21日(土) 小澤洋介チェロの世界 in 八ヶ岳

バッハ無伴奏チェロの組曲 シリーズ その1

・バッハ：無伴奏チェロ組曲 第6番 BWV1012

・コダーイ：無伴奏チェロソナタ 作品8

会場：谷櫻酒造 蔵元ホール(八ヶ岳山麓 大泉村)

お問合せ：友の会八ヶ岳支部 三井千恵子 TEL.0551-38-0354

11月8日~12日 サンクト・フローリアン三重奏団

骨髄バンク支援キャンペーンコンサート 埼玉、千葉、東京、福島

お問合せ：全国骨髄バンク推進連絡協議会 TEL.03-3356-8217

封筒の宛先の下に数字は会員有効期限年月です。切れている方は同封の振込用紙で、ご継続の手続きをぜひお願い致します。

新規会員を随時募集しております。知人、ご友人の方々に友の会をぜひご紹介下さい。

年会費 一口 1,000円

郵便振替口座 00260-1-13926

加入者名：「友の会 小澤洋介・三戸素子・フィリップ・ヤグ」